

日本語学習における作文指導案

指導者

- 1 題材 自分について書く（自己紹介）
- 2 題材について

自分について、4つ程度の文型を使い表現する。ひとつひとつの文型については、そこで使われやすい名詞、形容詞、動詞などを例示し、学習者に言い換えが出来るように指導するのが望ましい。

例文

- ・私は～（名前）です
- ・わたしの家は～人家族です
- ・私は～するのが好きです
- ・私は～な性格だと思います

3 目標

- 4つの文型を使って、日本語文が書ける (①聞く・話す・読む・書く)
- 文にある漢字が書ける (②文字・表記)
- 文で使う語彙+同じカテゴリーの語彙を習得 (③語彙)
- 文型に気づき、語彙を入れかえて文を作ることができる (④文法)
- 自分について、書いたり、発表したりすることで、自分についての自信につながる (⑤適応指導)

4 子どもの実態

対象の子ども	子どもの実態
小学校高学年・中学生	背景 本国で小学5・6年生相当の学習を標準的に習得し、母国言語を使って抽象的な思考力も年齢相応に有している児童 来日してから一定の生活言語、マナー、コミュニケーションスキルを学び、教科学習へ移行する段階にある児童（特に家庭での日本語インプットが少ないと予想される児童）
	日本語力 適応指導を30時間程度終了し、学校生活に必要な文例を習得している サバイバル時期の日常会話を積極的に行い、簡単な文章を読んだり書いたりできる 音声言語を中心とした習得方法からの発展として、文例を読み、理解する中で文法知識の習得を目指す段階

5 指導計画 (3時間)

(漢字圏母語話者の場合や年齢の高い場合は、②(文字・表記)に時間を要しないので、2時間扱いとし、1時間目で①③を行い、2時間目で④⑤(総復習と会話練習含む)に当てる

(1) 関連指導事項

時間	ねらい	言語材料
1	自分を客観的に見る	
2	自己紹介文のひな形を使って自分の紹介文を作る	
3	作成した文を人前で発表する	

(2) 指導計画

時間	ねらい	言語材料
1/3	学習 自分について、紹介する文のひな形を理解する	
	言語 私は～（名前）です わたしの家は～人家族です	片仮名、もしくは漢字での自分の名前表記 数字、活動についての動詞、形容詞

○ 自分について何をするのが好きか、どういう性格かなどを考える

(2) 準備・資料

絵カード

好きなことの活動が描写されている絵カード、写真：テレビを見る、スポーツ観戦など

性格を表す絵カード：大人しい、明るい、短気な、おっとりした、積極的な、内気な、など

(3) 展開

学習内容・活動	支援及び配慮事項
導入 文型の確認 文型練習 文法的まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師が自己紹介文のキーワードを先に板書し、生徒に聞きながら板書する キーワード：鈴木学、6人、スポーツ番組を見る、積極的な 私は鈴木学です。 私の家族は6人家族です。(祖母、父、母、兄、妹、私で6人です。) 私はテレビでスポーツ番組を見るのが好きです。 私は、積極的な性格だと思います。 ・ 生徒に同じ内容の質問をし、答えさせる あなたの家族は何人ですか あなたは何をするのが好きですか あなたは自分の性格をどう思いますか ・ 自分の自己紹介文を書く ・ 友人の自己紹介を読んで、自分のものと比較し、修正したい部分は修正する

6.3 本時の指導 (3 / 3)

(1) 目標

○ 自己紹介の文を教室で発表する

○ 人前で話すときの態度を学習する (姿勢、目の視線、声の大きさなど)

(2) 準備・資料

自己紹介文の原稿

(3) 展開

学習内容・活動	支援及び配慮事項
導入 文型の確認 文型練習 文法的まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師が生徒の前で自己紹介をする (自己紹介文を板書しておく) 私は鈴木さちこです。 私の家族は5人家族です。父、母、兄、妹、私の5人です。 私はテレビでドキュメンタリー番組を見るのが好きです。 私は、おとなしい性格だと思います。 ・ 生徒にペアで、自己紹介しあう練習をさせる ・ 「教室の前に出て発表したいと思う人？」と聞いて、手の上がった生徒から発表させる ・ 最後は全員が発表して、お互いの発表について、講評し合う